
2018年度 第4回 音環境運営委員会 議事録

記録：富来

A. 日時 2019年3月8日（金）17:00～19:00

B. 場所 建築学会 304 会議室

C. 出席者 古賀貴士（主査）、池上雅之、石渡智秋、岡野利行、漆戸幸雄、川井敬二、坂本慎一、佐久間哲哉、
富田隆太、中澤真司、羽入敏樹、山内崇、富来礼次（幹事）

欠席者 石塚崇、大嶋拓也、佐藤洋、田中学、富高隆、濱田幸雄、平光厚雄
（敬称略）

D. 提出資料

資料 4-0：2018年度第3回音環境運営委員会議事録（案）. pdf

資料 4-1：20190308_環境工学本委員会（第4回）資料. pdf

資料 4-2：OS 応募論文. pdf

E. 議事記録

1. 前回議事録の確認

- ・修正事項：5. (1) 「京都大学桂キャンパス」→「キャンパスプラザ京都」
- ・以上を修正して承認

2. 環境工学本委員会報告（資料 4-1）

- ・2018年度大会の部屋割りと参加人数について
⇒音環境関連発表の教室（定員 49）で最大 92 名の参加者を確認
⇒ただし環境工学では定員 99 名の教室でも、全て最大 70 名以上の参加が認められる。他分野でもほぼ同様の状況であり、どこかにしわ寄せが来る。簡単に改善できる課題ではない。
- ・2018年度大会オーガナイズドセッション講評の報告
- ・2018年度大会研究集会等の参加者数・資料販売数の報告
- ・2019年度竹中育英会建築研究助成候補募集、2018年3月29日（金）17時必着。
- ・2018年度調査研究委員会活動成果報告。環境工学委員会で刊行点 5 点、講習会 3 回、催し物 15 回。
- ・大会梗概集、論文集の主題・副題について
⇒大会の環境工学部門で連続して複数応募する場合の注意は、各編が独立した内容であること、のみとする
⇒論文集で連続して応募する場合、系に関わらず、表題が共通するタイトルとしサブタイトルが具体的内容を適切に表したものとするとの報告があった。
- ・論文投稿型のシンポジウムについて二重投稿の問題等の議論が継続して行われている
- ・計画系委員会活性化策検討小委員会の議論内容の報告があった
- ・次期災害委員会委員として広島大学・田中先生を推薦することとした
- ・能力開発支援事業委員会委員、刊行委員会委員の推薦の依頼があった
- ・2019年度大会について
⇒金沢工業大学扇が丘キャンパス
⇒研究協議会および表彰は 2 日目午後
⇒パネルディスカッションは 1 日目午前
⇒若手優秀発表賞実施要綱の審査基準については音環境のみ提出済み、継続審議
⇒環境工学懇親会は 2 日目（9/4）18:30-、金沢ニューグランドホテル、会費：事前 7000 円、当日 8000 円

- ・日本建築学会環境基準 (AIJES) の英文表記が「Standard for～」へ変更することとなった
- ・日本建築学会環境基準 (AIJES) の電子化について
 - ⇒電子化希望調査を実施、音環境関連は全て「希望する」とした
 - ⇒今後のスケジュール：電子書籍候補を本年度中に絞り込み、来年度4月以降に順次刊行予定
- ・音環境関連WG（「インパルス応答予測・計測WG」「室内音響啓発コンテンツ企画WG」）の設置申請が認められた
- ・本年度予算執行状況について
 - ⇒音環境運営委員会全体で168%使用済みだが、環境工学全体では69%程度の消化率のため、使う必要があれば枠を超えても使用可、金額が大きい場合は本部へ事前に連絡をすること

3. 審議事項

(1) 来年度以降の活動について

- ・次期運営委員会委員構成について確認した。(MLで事前に連絡済)
- ・来年度運営委員会日程について、環境工学本委員会の日程が決定されてからメール審議とすることが了承された
- ・AIJES 関連のシンポジウム開催など、次回環境工学委員会に先立って、音環境運営委員会としての審議が必要となる事項がある。これらについて、3月までは既存委員、4月からは新委員でメール審議することが了承された。
- ・実務的騒音対策指針の改訂について
 - ⇒これまでの経緯として2017年度第4回委員会資料および2018年度第1回委員会資料を確認した
 - ⇒羽入委員、富田委員より、WG等で具体的な検討作業を進め、音環境運営委員会の方針を判断する方法が良いのではないかとの提案があった
 - ⇒3月中に古賀主査からたたき台(執筆目的のWGではなく、方針策定のWG等の案)をMLへ送付し、継続してメール審議とされることが了承された。

(2) 2019年度大会プログラム編成について

- ・2019年4月19日(金) 13:00-実施
 - ⇒音響学会と日程重複があるため、全体調整が必要である。
 - ⇒各小委員会から在京の方をプログラム編成委員として推薦することとなった

4. 各小委員会・WGの活動報告

(1) 固体音小委員会

- ・10/16に第3回、11/1に第4回、2/15に第5回開催。第3回小委員会ではA特性床衝撃音レベルの計算手法の検証対象として建設中の集合住宅の3住戸各1室でスラブ素面、二重天井なしの状態におけるタイヤ、ゴムボールの床衝撃音レベルと打撃点のインピーダンスを実測した。第4回、第5回小委員会では、実測を行った3室のインピーダンス法2009、インピーダンス法(山下-大脇式)、モード関数法での計算結果について討議した。今後の検討として、計算対象を1物件1室増やすとともに、FDTD、拡散度法による計算も行い、ゴムボールによるA特性床衝撃音レベルの予測結果の検証や、各計算手法のパラメトリックスタディなどを行っていくことを確認した。次回4/23予定。
- ・固体音評価法検討WG
 - ⇒10/16、1/22に開催。デベロッパーの室内騒音の評価方法・目標値の調査と委員から話題提供された固体音の発生、対策事例についての意見交換を実施した。また2019年度のAIJ大会にWGの成果を公表する方向で進めることを確認した。次回3/18予定。

(2) 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会

- ・1/30に開催。オーガナイズドセッションについて、想定される講演発表者を協議し、主査から積極的な投稿をお願いすることにした。また鉄道騒音の測定法に関して、 L_{AE} から L_{Aeq} を算出するにあたって、SLOWピーク値と暗騒音レベルの差を変えて算出した L_{Aeq} と全時間 L_{Aeq} の対応をみた結果について検討した。さらに鉄道騒音を対象とした聴感実験について試験音は最大87.6dBから56.8dBの15本を対象としていることが報告された。次回3/27予定。

(3) 建築音響測定法小委員会

- ・A特性遮音評価関連について、遮音のA特性評価に関する課題等の検討結果について12/5に音環境規準検討小委内で中間報告を行った。検討してきた内容を踏まえ、A特性のレベル差を導入した場合のメリットとデメリットを整理して最終報告とする予定。
- ・界壁の遮音欠損やフランキングの部位を特定する手法やセンサの違いについて実験的に検討するため、音響インテンシティ測定を実施。実験は奥村組実験施設を借用。予備実験を2/14, 2/26に実施済み。本実験3/28。
- ・次回は4月中で日程調整。

4) 室内音響小委員会

- ・1/30に開催。次期にも継続で、吸音に関するAIJES等についての検討を進めることを決定。まず、DIN,CASBEE,WELL,LEED等の規格について内容を確認する予定。また、新規WG「啓発コンテンツWG」を4月から発足し、音響関係者以外への吸音啓発のコンテンツの企画や発信等の検討を行う予定。
- ・スピーチプライバシーWG
⇒ 来期からの刊行小委員会の活動に向け、現在のWDの内容について議論を行い、方針、用語、構成について3月までに修正を完了の予定。今後はWDからCDに移行し、内部査読を行うと共にシンポジウムの準備を行う。
- ・インパルス応答予測・計測WG
⇒ 昨年東京芸大の2種のスタジオで測定したインパルス応答から算出されるMTF、STI値について、実験条件、委員間の算出アルゴリズムの違いによる算出値のばらつきを確認。今後、これらの知見を基にベンチマーク問題を作成する予定。
- ・子どものための音環境WG
⇒ 保育施設への音環境設計の普及に向けて、AIJES改定版の内容の検討、問題を抱えた園での実測・解析や指導、保育施設への対応のための組織づくりの構想を行っている。WG会合には建材メーカーや園関係者のオブザーバー参加を得て、現場の声を聞きながら議論を進めている。

(5) 音響数値解析小委員会

- ・1/11に第3回開催。シミュレーション活用による伝送系データベースについて、試作問題(吸音壁面を持つ立方体室の残響問題)およびその解析結果に基づき、今後の方向性に関する議論を行った。数値解析ありきではなく、どのような問いに答えるための問題設定かを明確にし、それに沿った結果をデータベース化していくこととなった。次期小委員会の活動計画に関する議論も行った。次回3/13予定。

(6) 音環境規準検討小委員会

- ・12/5に第5回、2/27に第6回開催。AIJES「スピーチプライバシーの評価規準と設計指針(仮)」の進捗を確認。新たなAIJESとして吸音性能に関する規準の可能性についての議論を行った。第5回において、「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」の課題の検討依頼について、建築音響測定法小委員会での検討概要(空気音遮断性能のA特性評価の可能性)について、山内主査、杉江前主査にご出席いただき報告していただいた。次回5/10予定。

(7) 企画・広報WG

- ・12/12に第4回、2/4に第5回開催。「音環境に関する法規制・規格・基準の現状」改定について、3つのSWG

(屋外騒音／性能評価／JIS/ISO)によるアップデート作業。本年の建築学会大会において、WG 活動成果報告としての発表、本年秋頃のシンポジウム開催に向けて取りまとめ中。建音検索のアップデート作業にも着手する予定。次回 3/13 予定。

(8) 司法支援建築会議普及・交流部会

- ・司法支援建築会議では、毎年、「講演会」と「建築紛争フォーラム」を開催し、会報を発行している。講演会は建築会館ホールでの開催を基本とし、3年に1回は大阪地区で開催することになっており、建築紛争フォーラムは、大会開催地区での開催を基本としている。1月15日(火)に開催された普及・交流部会では、主に第20回講演会のテーマについて、また、北陸地域での第9回建築紛争フォーラムの開催について審議。次回 4/18 予定。

5. 他学会・研究会の予定

(1) 日本音響学会・建築音響研究会

- ・3/22 キャンパスプラザ京都, 4/26 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター, 5/31 小林理学研究所, 6/28 福岡大, 7/16, 17 札幌市民交流プラザ (電気音響研究会と共催)、8/9 東京大柏キャンパス

(2) 日本音響学会・騒音振動研究会

- ・3/26 東大生研, 5/15 名城大学

6. その他

- ・次回開催予定：来年度環境工学本委員会の予定が確定した後、MLで調整
- ・2021年度のOSについて、分野横断型の企画をする場合には早めに検討を進めた方がよい。

以上